

製品名: LDLR マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81454**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	95.4kDa

抗原情報

遺伝子名	LDLR
別名	FH; FHC; LDLCQ2
遺伝子 ID	3949.0
SwissProt ID	P01130
免疫原	大腸菌で発現したヒト LDLR (AA: 22-150) の精製された組み換え断片。

背景

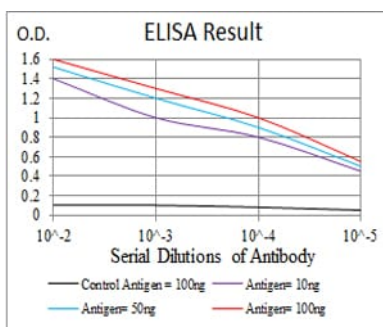
低密度リポタンパク質受容体 (LDLR) 遺伝子ファミリーは、受容体を介した特定のリガンドのエンドサイトーシスに関与する細胞表面タンパク質で構成されています。低密度リポタンパク質 (LDL) は通常、細胞膜に結合して細胞内に取り込まれ、リソソームに運ば

れます。そこでタンパク質は分解され、コレステロールはミクロソーム酵素である 3-ヒドロキシ-3-メチルグルタリルコエンザイム A (HMG CoA) 還元酵素の抑制に利用されます。この還元酵素はコレステロール合成の律速段階です。同時に、コレステロールエステル合成が相互に刺激されます。この遺伝子の変異は、常染色体優性遺伝疾患である家族性高コレステロール血症を引き起こします。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。

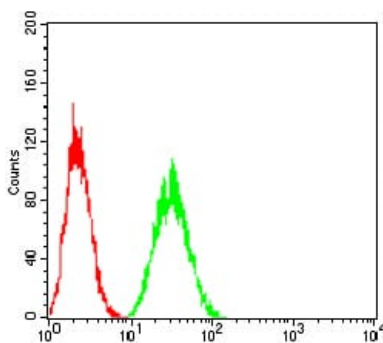
研究分野

-

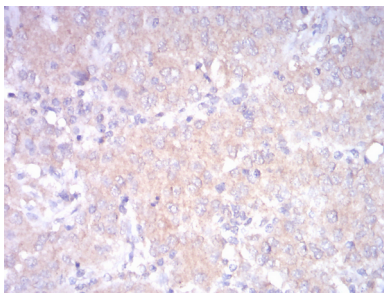
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



LDLR マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による LDLR マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。